

● 2013年12月 総覧 過去記事 検索 Twitter Facebook

- 2013/12/29 国連を敵に回した靖国参拝
- 2013/12/27 安倍首相の靖国参拝と天皇誕生日・クリスマス・毛沢東生誕記念日
- 2013/12/25 スーダン銃弾供与問題と露払い朝日新聞
- 2013/12/25 朝日社説の陸自スーダン派兵論(再掲)
- 2013/12/24 トリチャンドラ校前の信号機
- 2013/12/23 京都の米軍基地(30)：特定秘密指定前に
- 2013/12/21 京都の米軍基地(29)：グーグルでのぞく
- 2013/12/20 京都の米軍基地(28)：和による抵抗の苦悩と悲哀
- 2013/12/19 京都の米軍基地(27)：闘う毎日放送
- 2013/12/18 京都の米軍基地(26)：地域社会の分断
- 2013/12/14 ネパリタイムズ購読おまけ，中国日報とLED ランタン
- 2013/12/12 京都の米軍基地(25)：用地取得準備
- 2013/12/09 京都の米軍基地(24)：米軍特需
- 2013/12/08 制憲議会選挙 2013(26)：乗っ取られた選管
- 2013/12/05 制憲議会選挙 2013(25)：NHKのネパール選挙「偏向」報道
- 2013/12/04 制憲議会選挙 2013(24)：卍とハーケンクロイツ
- 2013/12/03 制憲議会選挙 2013(23)：パタン南方の桜と中国日報
- 2013/12/02 制憲議会選挙 2013(22)：アイデンティティの市場競争へ

国連を敵に回した靖国参拝

1. 国連の靖国参拝批判

国連のパン・ギムン（潘基文，Ban Ki-moon）事務総長が，安倍首相の靖国参拝を批判した。事務総長報道官の「声明」によれば，パン事務総長はこう述べている。

- ・「過去から生じる緊張がいまだに（北東アジア）地域を悩ませていることを非常に遺憾に思う」。
- ・「事務総長は一貫して地域の国々に対し、共有する歴史について共通の認識や理解に至るよう促してきた」。
- ・「他者の感情、特に被害者の記憶に敏感であることや、（各国が）相互信頼の構築や連携強化に尽力すること」が必要。
- ・各国の指導者は「特別な責務」を負う。（共同，12月28日）

これは、まずい。日本は、国連，つまりは国際社会を敵に回してしまったのだ。

2. 韓国寄りの国連事務総長

むろん，国連も事務総長のパン・ギムン氏も，必ずしも中立公平ではない。パン氏の経歴は以下の通り： 韓国外交部勤務（1970-），外交部国連課長(1980-），駐米総領事(1987-），駐米公使(1992-），外交通商部長官(2004-），国連事務総長(2006-）。

この経歴から見て，パン事務総長が韓国の国益を考えるのは自然な成り行きだ。国連人事では韓国人や身内の優遇をしばしば批判されてきたし，またネパールに関することでも，たとえばプラチャンダの「ルンビニ

開発」など、様々な案件においてパン事務総長の韓国寄りがうかがえる。もちろんアメリカともツーカーの仲のはずだ。

3. 稚拙で危険な安倍独善外交

しかし、建前はともあれ、外交では、そのようなこともありうるものが当然折り込まれている。この国際政治の常識からすると、準備も根回しもない安倍首相の靖国参拝は、独りよがりの愚策中の愚策といってよい。パン事務総長は、米政府の靖国参拝「失望」声明を受け、絶好のチャンスとばかり、国連としての「遺憾」声明を出したのだろう。

これで、日本は米国ばかりか、世界社会をも敵に回してしまった。繰り返すが、国際機関が中立公平でないのは、自明のこと。それを十分考えた上で、最大限国益に沿うような可能な政策を選択するのが、まともな大人の政治家だ。『美しい国へ』の書評で指摘したように、安倍首相は、精神的に自立した大人の政治家ではない。だから、このような幼稚な失敗外交をやるのだ。

いまの日本は、国際連盟脱退(1933-35年)により国際的に孤立し破滅へと転落していった頃と、構図的には、よく似ている。世界のどこにも通用しない独善を、壮挙と錯覚している。このような世界の非常識をヒステリックに叫ぶのが愛国的ともてはやされ始めたら、集団誇大妄想に囚われ、ふたたび取り返しがつかない事態に陥るであろう。

THE KOREA TIMES



■The Korea Times(28 Dec.)

4. 中国の対日情報戦略

さらにもう一つ、警戒すべきは、パン国連事務総長の「声明」をいち早く最も詳しく伝えたのは、中国メディアだということ。28日付新華社英語版によれば、パン事務総長は、安倍首相の靖国参拝について、こう発言している。

“It is highly regrettable that tensions from the past are still plaguing the region.”

“The secretary-general is aware of the visit by the Prime Minister of Japan to the Yasukuni shrine, as well as of a strong reaction to it by China and the Republic of Korea.”

“The secretary-general has been consistent in urging the countries in the region to come to a common view and understanding of their shared history.”

The UN chief “stresses the need to be sensitive to the feelings of others, especially memory of victims, and focus on building mutual trust and stronger partnership.”(Xinhua 2013-12-28)

このパン事務総長の公式発言を受け、新華社は、こうコメントした。「安倍首相は木曜日、A級戦犯14人を含む戦死者を祀る神社に参拝した。この神社は、日本の過去の軍国主義のシンボルとみられてきた。」(Ibid)

そして、さらにそれに続けて、中国外務報道官の次のような発言を詳しく伝えた。すなわち、安倍首相の靖国参拝は、日本の植民地支配や侵略戦争を正当化し、日本軍国主義に対する国際社会の審判を否定し、戦後の国際社会秩序を覆そうとするものだ、と。

この中国の靖国参拝批判は、韓国や米国そして国連、つまりは日本をのぞく世界社会の靖国参拝批判と大筋において同じであり、安倍首相の参拝弁解よりもはるかに客観的であり説得力がある。

しかも、中国には日本にはない大国的な戦略的思考がある。中国からは、新華社だけでなく、たとえば中国国際放送など、多くのメディアも同趣旨の靖国参拝批判を世界に向け繰り返し流している。まさしく中国発情報の洪水、日本は到底太刀打ちできない。

世界各地の報道を見ると、多くが新華社記事を転載したり引用したりしている。日本発はあっても、たいてい欧米通信社系のものだ。しかも、多くは英語メディアだから、記事へのコメントは、たいてい外国人のものであり、日本人からのものはほとんど無い。見るも無惨な、安倍ニッポン完敗！



■中国国際放送 英語版／日本語版(12月28日)

5. 保守主義者の決起を

安倍首相には、パワーポリティックスへの冷徹な認識もなければ、世界世論を味方につけ国益を図るに必要な戦略的思考もない。保守主義は、本来、成熟した現実主義であるはずだ。自民党の保守本流は、いつまで、このような未熟なアマチュア冒険政治を放任しておくつもりなのだろう。手遅れになる前に、決起すべきではないのか。

谷川昌幸(C)

2013/12/29 03:00

カテゴリー: [外交](#), [中国](#)

タグ: [ルンビニ開発](#), [Ban Ki-moon](#), [現実主義](#), [靖国神社](#), [軍国主義](#), [国連](#), [国際連盟](#), [安倍晋三](#), [戦犯](#), [保守主義](#)

安倍首相の靖国参拝と天皇誕生日・クリスマス・毛沢東生誕記念日

1. 天皇・キリスト・毛沢東・安倍首相

安倍首相が、政権誕生1周年の12月26日、靖国神社を参拝した。同じ26日、中国では、毛沢東生誕120周年が大々的に祝われた。3日前の23日は天皇誕生日であり、国民は天皇傘寿を心から祝った。そして、前日の24-25日はクリスマス、世界の何億という人々が、こぞってイエス・キリストの降誕を祝い祈りを捧げた。12月の23日、24-25日、26日は、世界中の多くの人々にとって、特別の日である。

その大切な日々の中で、安倍首相は靖国神社を参拝した。安倍氏の首相就任は、天皇(23日)、イエス・キリスト(24-25日)、毛沢東(26日)といった特別の人や神や偉人の生誕に相当する歴史上の出来事なのだ。

2. 靖国参拝歓迎

日本国民の多くは、安倍首相の靖国参拝を歓迎した。街にもネットにも喜びの声が満ちあふれているが、ここではネパールと関係が深い野口健氏のツイッターを紹介しよう。氏の意見は、大多数の日本人の気持ちを代表しているし、またツイッターは公開されており、世界中への拡散が自明なものとされ期待されているからである。

—(以下引用)—————

野口健 Twitter

@kennoguchi0821 2013年12月26日 - 11:33

総理の靖国参拝はあるべき姿でいちいち大騒ぎする話でもなく。日本のメディアもいちいち煽るからいけない。

@kennoguchi0821 2013年12月26日 - 11:39

特攻隊員もそうですが多くの兵士が「靖国で会おう」と言いながら出撃していった。僕もよく靖国参拝しますけれどその度に戦争を繰り返してはいけないと心底に感じるもの。戦争を美化したり正当化するものでもない。

@kennoguchi0821 2013年12月26日 - 11:41

本当にそう RT@8robinaru4:靖国神社は、戊辰戦争以後に日本のために命を懸けて戦ってくださった方々が祀られてる神社なのに、マスコミはまるでファシスト礼賛神社のように報じますよね。故人に対して大変失礼ですよ。

@kennoguchi0821 2013年12月26日 - 13:30

総理の靖国神社参拝の度に大騒ぎするこの状況に対し英霊たちは何を感じているのだろうか。国が始めた戦争であり多くの兵士は赤紙一枚で戦場に派兵され散っていった。僕が遺骨収集を続けているのも国の為に戦い亡くなった方々に対し冷たい国は、そんな国はいずれ滅びると感じているからだ。

—(以上引用)—————

3. 毛沢東生誕120周年日の靖国参拝

しかし、26日の靖国参拝は、お隣の中国にとっては、衝撃であったにちがいない。あまりにも危険なので中国側は自制しているが、それでも新華社や中国日報の記事を見ると、その衝撃は十二分に察知できる。



■「毛沢東氏の一生の印象深い微笑みの写真」／「日本の安倍晋三首相、第二次世界大戦のA級戦犯が祀られている靖国神社を参拝」（新華網日本語版 12月26日、写真キャプション原文）



■新華網表紙掲載写真(Xinhuanet, 26 Dec)



Whitewashing history
2013.12.26 07:02
By: L. Feng



■中国日報風刺画「歴史偽装（リ・フェン）」。アジア史の真実・安倍首相・クリスマスの組合せ (China Daily, 26 Dec)

この取り合わせの写真を見て、中国の人々は平静でいられるだろうか？ 26日の靖国参拝が、隣国でこのように見られることを予期できないような人には、想像力のかけらもないといわざるをえない。

さらに憂慮すべきは、中国は情報戦略に長けていること。極東の島国で国内しか見ようとしない内弁慶日本とは、スケールが違う。

たとえば、ネパールでは、先述のように、[中国日報はおまけとして配布されている](#)し、新華社ニュースも広く参照され転載されている。事情は、アジアの他の地域でも同じであろう。安倍首相が国内向けに何を言おうが、アジアでは、中国発の情報の方が、ますます広く流通し、共感を得ていくことは明白である。

4. クリスマスと靖国参拝

26日の靖国参拝は、アメリカをはじめ西洋諸国にも深甚な衝撃を与えていることは間違いない。靖国神社は

「神社(宗教施設)」であり、そこには第二次大戦の A 級戦犯も合祀されている。その靖国神社への首相参拝は憲法の政教分離原則違反。それは、大東亜戦争の政治的正当化であるばかりか、さらには宗教的神聖化(聖戦化)でもある。

このような性格を持つ靖国参拝が、クリスマスを祝い祈りを捧げている人々に衝撃を与えないはずがない。宗教はあまりにも危険なので表には出さないであろうが、それがアメリカをはじめ西洋諸国の警戒心を一層高めることは間違いない。彼らは、日本国元首の靖国神社(Yasukuni Shrine)参拝を、政治的に、決して許容しないであろう。

5. 天皇と安倍首相と靖国参拝

23 日に天皇誕生日を祝っていた人々の中にも、安倍首相の直後の靖国参拝には衝撃を受けた人がいるにちがいない。

昭和天皇も今の天皇も、日本国憲法の遵守を幾度も明言されてきた。23 日にも天皇は「おことば」で、こう語られた。

—(以下引用) —————

戦後、連合軍の占領下にあった日本は、平和と民主主義を、守るべき大切なものとして、日本国憲法を作り、様々な改革を行って、今日の日本を築きました。戦争で荒廃した国土を立て直し、かつ、改善していくために当時の我が国の人々の払った努力に対し、深い感謝の気持ちを抱いています。

After the war, Japan was occupied by the allied forces, and based on peace and democracy as values to be upheld, established the Constitution of Japan, undertook various reforms and built the foundation of Japan that we know today. I have profound gratitude for the efforts made by the Japanese people at the time who helped reconstruct and improve the country devastated by the war.

(<http://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/kaiken/kaiken-h25e.html>)

----(以上引用)-----

日本国憲法遵守のお立場から、昭和天皇は、A 級戦犯合祀をきっかけとして、靖国神社参拝をやめられた。(一部異論については関係文献参照。)今の天皇も、靖国神社には決して参拝されない。

日本国の「象徴」の天皇が、憲法を遵守されるが故に靖国神社に参拝されないのに、日本国の「元首」であり他の誰よりも厳しい憲法遵守の法的義務を負う安倍首相が、靖国神社を参拝するのは、なぜか？

これは、近隣アジアの人々にも他の世界中の人々にも説明できない。いや、日本国民により選ばれ、日本国民を代表しているにもかかわらず、その日本国民自身にさえ、それは合理的には説明できないであろう。

谷川昌幸(C)

【米政府声明】

Statement on Prime Minister Abe's December 26 Visit to Yasukuni Shrine

December 26, 2013

Japan is a valued ally and friend. Nevertheless, the United States is disappointed that Japan's leadership has taken an action that will exacerbate tensions with Japan's neighbors.

The United States hopes that both Japan and its neighbors will find constructive ways to deal with sensitive issues from the past, to improve their relations, and to promote cooperation in advancing our shared goals of regional peace and stability.

We take note of the Prime Minister's expression of remorse for the past and his reaffirmation of Japan's commitment to peace.

安倍首相の靖国神社参拝（12月26日）についての声明

2013年12月26日

日本は大切な同盟国であり、友好国である。しかしながら、日本の指導者が近隣諸国との緊張を悪化させるような行動を取ったことに、米国政府は失望している。

米国は、日本と近隣諸国が過去からの微妙な問題に対応する建設的な方策を見だし、関係を改善させ、地域の平和と安定という共通の目標を発展させるための協力を推進することを希望する。

米国は、首相の過去への反省と日本の平和への決意を再確認する表現に注目する。

(<http://japan.usembassy.gov/e/p/tp-20131226-01.html>)

(<http://japanese.japan.usembassy.gov/j/p/tpj-20131226-01.html>)

【中国政府の抗議】

程永華大使、安倍晋三首相の靖国神社参拝に強く抗議

2013/12/26 2013年12月26日

12月26日午後、程永華大使は日本の齋木昭隆外務事務次官と緊急に会い、安倍首相の靖国神社参拝について嚴重な申し入れと強い抗議を行った。

程大使は、きょう、安倍晋三首相が中国などアジアの隣国の激しい反対を顧みず、強硬に靖国神社を参拝したことに中国は極めて大きな憤りを感じ、強く抗議すると表明した。

程大使は次のように述べた。靖国神社は戦前、日本軍国主義の対外侵略拡張の精神的道具であり、象徴だった。現在もアジアの被害国人民に対してこの上ない罪を犯した第二次世界大戦のA級戦犯を祀っている。彼らは日本軍国主義の対外侵略発動、実行の画策者、指揮者であり、近代史上、アジアと世界に非常に大きな災難をもたらした張本人である。安倍首相が国際社会やアジアの隣国、中国人民の強い関心と反対を無視し、あくまでも靖国神社を参拝したことは国際正義に対する挑戦であり、人類の良識を踏みにじるもので、日本の今後の進む方向に対するアジアの近隣国と国際社会の高度の警戒と強い懸念を引き起こさざるを得ない。

程大使は次のように強調した。中国は日本軍国主義による対外侵略戦争の最大の被害国で、中国人民は日本の侵略戦争の中で深く重い災難を受けた。この歴史を正しく認識し、対処することが戦後の中日関係の回復と発展の政治基盤である。中日の四つの政治文書はこれについて明確に規定している。今回の安倍首相の参拝は中日の四つの政治文書の原則に重大に反し、日本側の約束に重大に反し、中日関係の政治基盤を重大に損ない、中国人民の感情を重大に傷つけた。

程大使は次のように指摘した。現在、中日関係は依然として深刻な困難に直面しており、安倍首相の靖国神社参拝は歴史問題で再び重大なトラブルを引き起こし、両国関係の改善・発展に重大な政治的障害をもたらした。これによって引き起こされるすべての結果に日本は責任を負わなければならない。

齋木次官は、日本は日中関係を重視しており、今回のことが両国関係に影響を与えることのないよう希望

すると述べた。また齋木次官は安倍首相の靖国神社参拝について弁明した。程大使はこれに対し厳しく反論した。(http://www.china-embassy.or.jp/jpn/sgxw/t1112233.htm)

2013/12/27 00:05

カテゴリー: [外交](#), [平和](#), [歴史](#), [中国](#)

タグ: [Abe Shinzo](#), [クリスマス](#), [Emperor](#), [聖戦](#), [野口健](#), [英霊](#), [靖国](#), [象](#)

[徴](#), [nationalism](#), [reactionary](#), [Shinto](#), [shrine](#), [Yasukuni](#), [元首](#), [天皇](#), [安倍晋三](#), [戦争犯罪](#), [戦争責任](#), [政教分離](#), [毛沢東](#)

スーダン銃弾供与問題と露払い朝日新聞

1. 韓国軍への武器(銃弾)供与

安倍政権の軍国主義化は向かうところ敵なし、特定秘密保護法を電光石火で成立させ、今度は、12月4日発足の国家安全保障会議(NSC)において、12月23日、スーダン派遣陸自銃弾1万発の韓国軍への供与を決定、ただちに閣議決定し、同日、引き渡した。この銃弾引き渡しについて、読売新聞は、こう報道している

— (以下引用) —————

井川1佐などによると、日本時間の22日未明、ジョングレイ州のボルで活動する韓国隊の隊長から、「ボルの活動拠点内には1万5000人の避難民がいる。敵については北から増援も確認。1万発の小銃弾を貸してほしい」と電話で要請があった。日本側が小銃弾を引き渡したところ、23日夜、韓国隊から「ボルの宿营地と避難民を守るために使う。本当にありがとうございました」と連絡があったという。(読売新聞12月25日)

— (以上引用) —————

この武器(銃弾)供与は、明白な違憲違法。まさか引き渡し後の追認閣議決定ではあるまいが、歴史に照らして、その疑いですら払拭しきれないほど危険な軍事的冒険である。

そもそも軍隊(自衛隊)が海外派兵(派遣)されれば、このような事態は当然予想されること。状況がさらに切迫すれば、今回と同じ「緊急の必要性・人道性」(官房長官談話12月23日)を理由に、自衛隊が直接戦闘に参加することすら十分あり得る。

2. 朝日の海外派兵煽動

ここで批判されるべきは、朝日新聞。先に指摘したように(下記参照)、そのような事態が十分にありうることをよく分かった上で、自衛隊スーダン派遣を煽り立てたのだ。(もし想定外と弁解するなら、ジャーナリズム完全失格)

朝日新聞は、変節後の社是「地球貢献国家」により、日本の軍国主義化の露払いをしてきた。朝日の「地球貢献国家」は、本質的に、安倍首相の「[積極的平和主義](#)」と同じものである。朝日が特定秘密保護法に反対したのも今回の弾薬供与を批判しているのも形だけ、実際には、押しつたり引いたりしながら、地球貢献国家＝積極的平和主義国家実現のための露払いをしているにすぎない。

朝日は、自社の歴史から何も学んでいないといわざるをえない。

■[朝日社説の陸自スーダン派兵論\(再掲\)](#)

■[良心的兵役拒否国家から地球貢献国家へ：朝日の変節](#)

- [自衛艦をソマリア沖に派遣せよ, 朝日社説](#)
- [自称「右翼軍国主義者」の「積極的平和主義」: 安倍首相の国連演説](#)

谷川昌幸(C)

2013/12/25 19:01

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#), [憲法](#)

タグ: [スーダン](#), [特定秘密保護法](#), [積極的平和主義](#), [自衛隊](#), [PKO](#), [Sudan](#), [国家安全保障会議](#), [地球貢献国家](#), [安倍首相](#), [朝日新聞](#), [海外派兵](#)

朝日社説の陸自スーダン派兵論(再掲)

[朝日社説の陸自スーダン派兵論\(再掲\)](#)

1. 陸自スーダン派兵
2. 軍国主義に傾く朝日新聞
3. 自衛隊の世界展開と PKO 5 原則
4. 「良心的兵役拒否国家」の原点に立ち戻れ

【関連記事】

- [スーダン派兵で権益確保: 朝日社説の含意](#)
- [海外派兵を煽る朝日社説](#)
- [良心的兵役拒否国家から地球貢献国家へ: 朝日の変節](#)

谷川昌幸(C)

2013/12/25 13:20

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#)

タグ: [スーダン](#), [自衛隊](#), [PKO](#), [Sudan](#), [平和構築](#), [朝日新聞](#), [海外派兵](#)

トリチャンドラ校前の信号機

交通信号は街で最も目立つもの。外人がカトマンズに来てまず驚くのは、だから信号機であり、ネタがれ時のネタダネとなるのも信号機である。ネパールの信号機は世界七不思議の一つといってもよいだろう。

そこで今日は、名門トリチャンドラ校前の信号機。この付近は、商業、観光、文化の中心地の一つであり、宣伝効果大。数年前には、東芝電気洗濯機の宣伝のついた駐停車禁止標識が並べられていたが、いまは、もちろん無い。

そのトリチャンドラ校前に誰が、いつ、何の目的で信号機をつけたのか分からないが、これはもちろん消灯。いつも消えている。有って無きがごとし。が、誰も気にしない。

ところが、この11月、行ってみると、その点かすの信号機手前に新しい(と見える)「信号機あり」標識が立てられていた！

これはもう文化だ。この不思議のネパール信号機文化が無くなる時、それは信号機が「赤黄青」で命令し、人を機械的に服従させ、もって「法の支配(rule of law)」がネパールに成立するときにほかならない。



■トリチャンドラ校前信号機(11月21日)



■信号機標識と点かすの信号機(11月21日)

谷川昌幸(C)

2013/12/24 14:59

カテゴリー: [文化](#)

タグ: [rule of law](#), [法の支配](#), [人の支配](#), [信号](#)

京都の米軍基地(30)：特定秘密指定前に

京の都の西北に米軍基地が新設され、Xバンドレーダーが搬入されると、レーダーや関連事項が「特定秘密」に指定されることは間違いない。

しかし、「秘密」は、状況から「存在」を確信できても、ブラックホールのようなものだから、周辺の風景を著しく歪めるばかりか、あらゆるものを中心部の「秘密」の中に引き込み、見えなく／見せなくする本質をもつ。

そうなれば、現在の空自経ヶ岬分屯基地ですら、見る事が許されない(と思わされしまう)ものになる。もしのぞき見しようものなら、「特定秘密」取得容疑で取り調べを受ける恐れがある。ほとんどの人にとって、それだけで十分な威嚇効果をもつ。

そこで、「特定秘密」が指定される前に、見えるものは全部見て、公知の事実にしてしまうのが賢明だ。特定秘密保護法の「特定秘密」も秘密保護法(1954年制定、2013年改正)の「特別防衛秘密」も、対象は「公になつていないもの」だけだからである。

「基地反対人間の鎖」は、もちろん尊敬すべき抵抗運動の一つだが、他方で、もう少しソフトに、軽やかに、「穴文殊撮影会」のようなものを開催し、作品をインターネット上や各地展示場所に掲示してはいかがであろうか。

この付近は国定公園であり、穴文殊をはじめ、いたるところに絶好の被写体がある。カメラ性能がよくなっているのに、ケイタイでもスマホでも参加できるし、セミプロやプロの方々であれば、経ヶ岬展望台からも激写を楽しめる

多くの人々が撮影し、同時にネット掲載すれば、瞬時に「世界公知の事実」となり、「秘密」指定の根拠がなくなってしまう。たとえば、経ヶ岬展望台からの分屯基地激写、「[丹後の観光・山頂展望台から丹後松島・犬ヶ岬方向を見る\(丹後観光ナビ\)](#)」のように。以下、誰でも撮影できる、すでに**公知の風景**の例。



■基地全景。背後山頂は経ヶ岬展望台



■分屯基地正面／基地向かいの不気味なアンテナ（軍用？）／岳山山頂レーダー



■基地ビル／基地アンテナ

谷川昌幸(C)

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#), [情報 IT](#)

タグ: [特定秘密](#), [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [軍機](#), [Xバンドレーダー](#), [京丹後](#)

京都の米軍基地(29) : グーグルでのぞく

米軍 Xバンドレーダー基地の設置で京丹後はどう変わるか？ それを知るには、現状を出来るだけ記録しておく必要がある。それには、グーグル監視カメラが、手っ取り早くて便利だ。

グーグル地図やグーグルアース・グーグルストリートは、全地球規模の監視(盗撮)カメラであり、特に道路沿いは要注意だ。庭先に干している下着や室内も、あげくは愛人密会現場ですら、バッチリ盗撮され、世界中にばらまかれる。プライバシー暴露で金儲けはケシカランが、それはそれ、ここでは弱者にそれほど傲慢なグーグルが強者の軍事機密にどこまで迫れるかだ。

丹後半島は日本の秘境であり、グーグルカメラの解像度はそれほど高くないが、それでも空自分屯基地の概略は十分読み取れる。データ更新で消される前に、重要部分、つまり特定秘密関連で消されそうな部分は、コピーし保存しておこう。(「A~D」はグーグルカメラ位置、「→」は撮影方向)



■空自分屯基地俯瞰（白文字追加）



■空自拡張用地（A→X）／穴文殊バス停前（B→D）／米軍用地（C→Y）



■分屯基地正面入口 (D)



■分屯基地中心部

谷川昌幸(C)

2013/12/21 14:36

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#), [情報 IT](#)

タグ: [グーグル](#), [特定秘密](#), [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [軍機](#), [Xバンドレーダー](#), [京丹後](#)

京都の米軍基地(28) : 和による抵抗の苦悩と悲哀

経ヶ岬の空自分屯基地付近に行ってみて気づくことの第4は (→[第1](#), [第2](#), [第3](#)) , 米軍 Xバンドレーダー基地問題で分断の瀬戸際にある地域社会の苦渋の抵抗である。京丹後市長も「苦渋の決断」をしたらしいが、地域住民に比べれば、その苦渋など、渋茶の渋ほどにもあたらない。(→[「苦渋の判断」の甘さ](#))

1. 呉越同舟ポスター掲示

下の写真は、空自基地の地元、尾和地区の旧道側で撮影したもの。前回述べたように、米軍反対看板やポスターは、経ヶ岬～袖志～穴文殊～尾和付近の国道沿いには一つも見当たらなかった。ところが、尾和の旧道の地区中心付近には、反対ポスターが1枚、壁に貼ってあった。しかも、見よ、自民党安倍首相の「日本を取り戻す」ポスターと並んで！

誰が、何の目的で、この2枚のポスターを、ここに並べて、しかも微妙な距離をとりつつ、貼っているのだろうか？



■尾和バス停付近のポスター掲示（12月9日）

空白基地から少し西の久僧地区まで行くと、そこにはさらに衝撃的なポスター掲示がある。共産党のポスターが、自民党ポスターと航空自衛隊＝自衛隊京丹後地域事務所ポスターに囲まれ、掲示されている。久僧地区では、自民党や自衛隊と共産党が仲良かったからだろうか？ まさか！ では、どうして？



■久僧「呉越同舟ポスター掲示」（2013年12月9日）

2. ネパールの呉越同舟ポスター掲示

実は、尾和地区や久僧地区の掲示を見たとき、「あれ？ あれと同じだ！」と、驚きを禁じえなかった。唐突と思われるかもしれないが、これらの掲示の醸し出す雰囲気は、つい先日（11月19日）実施されたネパール制憲議会選挙のポスター掲示の雰囲気とそっくり同じなのだ。（→[多党共生文化](#)）

ネパール制憲議会選挙では、 कांग्रेस党、統一共産党、マオイストの三大政党が激しく争った。特にマオイストと他党は、人民戦争(1996-2006)で戦い、双方に多くの死傷者を出した。残虐なゲリラ戦の記憶は生々しく、親族や知人が犠牲になった人も少なくない。マオイストと反マオイスト諸党は本来不倶戴天の敵であり、また、 कांग्रेस党と統一共産党も相互に敵対し、あちこちで暴力沙汰を引き起こしてきた。

選挙では、当然、そうした激しい党派争いが、地域社会に持ち込まれる。しかし、それを座視すれば、地域社会は分断され、住民同士、いや肉親であっても、敵対し憎み合うことになってしまう。それを防止し、地域社会の平和を守るにはどうすべきか？

ここから先は、よそ者の想像にすぎないが、観察した限りでは、地域社会が緊密であればあるほど、敵対する党派を外面的には共存させる方法をとっていた。

古い伝統をもつ小都市コカナでは、1軒の家の壁に、統一共産党・マオイスト・ कांग्रेस党の旗が、この順で並べて立ててあった。同じような旗やポスターの掲示が、ブンガマティ、キルティプルなど緊密な人間関係を持つ古い地域共同体では、どこでもいたるところで見られた。

私が見るに、これは内戦で殺し合ってきた党派間の抗争、あるいは政党間の激しい権力闘争を地域共同体に持ち込ませないための苦肉の策である。政治的立場や利害の対立はあるにせよ、共同体内では**事を荒立てない**ことによって、かろうじて「**和**」は保たれる。



■三党の旗を掲げるコカナの民家（2013年11月）



■古都キルティプルの諸党旗掲示（2013年11月）

このように、毎日、鼻突き合わせ暮らさざるをえない狭い地域共同体の人々にとっては、「**和**を以て貴しとなす」は身体化された生活の知恵であり、結局、それしか他に方法はあるまい。ネパールの古い町や村にとっても、日本の地方の小さな伝統的共同体にとっても。

3. 「和」による抵抗の苦悩と悲哀

しかし、それで地域社会の平和がこれからも守り抜けるかといえ、これは悲観的とならざるをえない。ネパールに襲いかかっているグローバル資本主義化の荒波は、たとえ政争を表向き棚上げしたとしても、伝統的生活を根底から揺るがせ、「**和**」の成立基盤そのものを蚕食しつつある。

同じことが、京丹後の村や町についても言える。米軍Xバンドレーダー基地問題について、地元の人々は、**事を荒立てず**、「**和**」を優先することによって、日々の生活の場たる地域共同体だけはともかく守り抜こうとしている。

しかし、Xバンドレーダー基地設置は、はるかかなたの東京やワシントンで米政府とその下請けたる日本政府が決定し、上から権力的に日本の秘境、丹後半島に押しつけようとしているものである。これに、地元社会は真正面からの表立った抵抗は出来ない。そのような抵抗を始めたら、地域社会が崩壊するから。

ところが、この X バンドレーダーは、先述のように、地元を必然的に「X バンドレーダー体制」に造り替える。もし京丹後が「和」を優先し、権力の押しつけに真正面から抗しないままズルズル流され、結局は「X バンドレーダー体制」を受け入れ順応するなら、その限りで地域社会の「和」は保たれるかもしれないが、そのときの丹後はもはや今の丹後ではありえない。守られるべき地域共同体は、そこにはない。丹後は、特定秘密保護法と共謀罪のモデル地区となっているであろう。

航空自衛隊経ヶ岬分屯基地付近の「呉越同舟ポスター掲示」は、「和」をもってしか抵抗しえない地域社会の深い苦悩と救われようのない悲しみを、道行くよそ者観光客に訴えかけているように思われてならない。

谷川昌幸(C)

2013/12/20 13:10

カテゴリー: [社会](#), [選挙](#), [軍事](#), [平和](#)

タグ: [キルティブル](#), [コカナ](#), [ブンガマティ](#), [特定秘密保護法](#), [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [自衛隊](#), [Xバンドレーダー](#), [共謀罪](#), [共同体](#), [制憲議会](#), [和](#), [抵抗](#), [京丹後](#)

京都の米軍基地(27) : 闘う毎日放送

関西で平和のために闘っているメディアの代表が、毎日放送（MBS テレビ・ラジオ）だ。

●MBS ラジオ「どこに行く？ 自衛隊」 2013 年 11 月 10 日

●MBS テレビ「見えない基地～京丹後・米軍レーダー計画を追う（仮）」 2014 年 1 月 19 日(日) 深夜 1 時 00 分～(予告)

――（以下引用）――

見えない基地～京丹後・米軍レーダー計画を追う（仮）



2013 年 2 月、日米首脳会談で近畿に初めての米軍基地が設置される方針が打ち出された。京都府最北端に配備されるのは弾道ミサイルを探知・追尾する X バンドレーダーで、青森の車力に次いで 2 基目となる。配備予定地周辺に広がる宇川地区は人口およそ 1700 人の集落で過疎化に歯止めがかからない。この地で育った永井さんは地域の行く末に不安を募らせているが、どんな基地が来るのか、米兵はどこに住むのか、一向に基地の実態が見えない。永井さんとともに京都に住む沖縄出身の人たちが反対の声を上げ始めた。133 番目の在日米軍基地設置に翻弄される小さな集落を見つめる。（<http://www.mbs.jp/eizou/>）

――（以上引用）――

いま、関西のメディアは、総じて保守反動的だ。読売テレビ「たかじんのそこまで言って委員会」、朝日テレビ「たけしの TV タックル」（東京制作）など。これらの番組にも、当初は、左派やリベラルの人々が少数ながら参加していた。が、しばらくすると、「公平」を演出しつつ、実際にはボコボコにたたき、イジメ、信

用失墜させ、見世物にする魂胆と分かったのであろう、いまではほとんど出演しなくなった。たとえ出演しても、発言の機会はほとんど与えられず、放送の「公平」のアリバイづくりに利用されていることは明白だ。

その結果、関西の時局討論番組や社会ネタ・バラエティは、弱者イジメ暴露ものや、保守道德主義・右派権力主義・タカ派大国主義の一方的宣伝の場に成り下がっている。「反東京・反権力」の矜持など、今や昔。関西は東京以上に東京らしい。

この逆風のなか、言論機関としての意地を見せているのが毎日放送。頑張れ、毎日放送！

谷川昌幸(C)

2013/12/19 11:51

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#), [情報 IT](#)

タグ: [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [Xバンドレーダー](#), [京丹後](#), [保守化](#)

京都の米軍基地（26）：地域社会の分断

経ヶ岬の空自分屯基地付近に行ってみて気づくことの第3は（→[第1](#), [第2](#)）, 米軍Xバンドレーダー基地反対の立て看板やポスター類がほとんどなくなっていること（12月9日現在）。これには驚いた。

京丹後において、米軍Xバンドレーダー基地反対の旗色を鮮明にしているのは、政党としては、事実上、共産党だけだが、その共産党の反対看板ですら、ほとんどなくなっていた。



■尾和 5月31日／尾和 12月9日

しかし、そこは不屈の共産党、わずかだが看板を残し、意地を見せている。特に感動したのが、下半分を破られた基地反対ポスターを、あえてそのまま掲示し続けていること。

誰がこのポスターを破り、誰が残りの半分をそのまま残す決断をしたのか、よそ者には事情はまったく分からない。が、この破られた半分の基地反対ポスターほど、地域社会の苦悩をよく物語るものはない。

そう、文字通り、**地域社会の分断**なのだ。よそ者の絵解きにすぎず、見る者にはそう見えるというにすぎないが、破る方も全部ではなく下半分しか破れず、上半分は残した。そして、破られた方も、米軍基地への抗議に加え、破った者への抗議をも込めて、あえて撤去せず、そのまま上半分を残したということではないか。



■上野 5月31日 / 上野 12月9日



■平 5月31日 / 平 12月9日

米軍 X バンドレーダーは、住民の安全を守るどころか、早くも地域社会の平和を、奥深いところから、陰湿に、むしばみ始めているのだ。

谷川昌幸(C)

2013/12/18 11:16

カテゴリー: [社会](#), [軍事](#), [平和](#)

タグ: [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [自衛隊](#), [Xバンドレーダー](#), [共産党](#), [地域社会](#), [京丹後](#)

ネパリタイムズ購読おまけ，中国日報と LED ランタン

以前，小さな村の茶店に「中国日報(英語版)」があり驚いた，と書いた（参照[パタン南方の桜と中国日報](#)）が，実際には，これは驚くほどのことではないらしい。
先日，[うえのともこさんのツイッター\(12月9日\)](#)に教えられ，ネパリタイムズの HP を見ると，なんと，購読のおまけに「中国日報」がつけられていた。LED ランタンもただでもらえる。

ネパリタイムズは大衆紙ではないが、LED ランタンまでもらえるのなら、ちょっと買ってみようかな、という人がいても不思議ではない。LED ランタンで「中国日報」を読めば、最先端の光により大いに啓蒙(lighten up)されるというわけだ。

これを見ても分かるように、中国のネパール進出は、かなり本気であり戦略的だ。残念ながら、日本には、ネパール紙に、たとえば「The Japan News」をおまけとして提供するだけの戦略性はない。

東アジアでもどこでも、日本は、中国に力で負けているのではない。彼にあり我にないのは、長期的な戦略的思考である。



■Nepali Times(13-19 Dec.)の購読案内と中国日報の宣伝

谷川昌幸(C)

2013/12/14 22:10

カテゴリー: [外交](#), [情報 IT](#), [中国](#)

タグ: [戦略的思考](#), [文化戦略](#), [中国日報](#)

京都の米軍基地 (25) : 用地取得準備

航空自衛隊経ヶ岬分屯基地付近に行ってみて、すぐ気づく第二のことは(第一のことは米軍特需)、軍事基地新設のための用地取得(買収・借用)準備が着々と進んでいると思われることだ。

空自基地(京丹後市丹後町袖志無番地)は、国道178号線「穴文殊バス停」北にある。穴文殊は通称であり、正式には「清涼山九品寺」。バス停の裏山に住職墓地、向かいに穴文殊と空自基地の案内板がある。



■バス停近くの道路標識／バス停標識／九品寺住職墓地



■穴文殊・空自基地案内板／参道入口正面

このバス停の北 100m ほどのところに、穴文殊と空自基地がある。その参道（空自通用道路）の東側と西側が、基地拡張候補地だ。東側が米軍用、西側が空自用。現状は水田と畑。



■東側農地／西側農地と空自基地／同左

この東西両側の水田や畑に行ってみると、区画の境界に立てられた新しいクイヤリボンが目につく。関係者に確かめたわけではないが、これはどうみても測量用。もしそうだとすると、空自基地周辺ではすでに用地取得のための測量が始まっているということになる。



■東側農地のクイトリボン／西側農地のクイトリボン／同左拡大土地については、米軍人・軍属(約 160 人) 住宅の用地も議論になっている。しかし、心配は全くない。土地は、いたるところに有り余っている。完全な買い手市場だろう。

谷川昌幸(C)

2013/12/12 18:02

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#)

タグ: [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [Xバンドレーダー](#), [京丹後](#)

京都の米軍基地 (24) : 米軍特需

京丹後市への米軍 X バンドレーダー受け入れ準備が急ピッチで進められているので、半年ぶりに、航空自衛隊経ヶ岬分屯基地付近を見に行ってきた。京の都の西北に新設される**関西初の米軍基地**だ！

京丹後市では、はや顕著な変化が始まっていた。誰でもまず気づくのは、米軍基地受け入れに伴うアメの部分。

受け入れるにしても、もう少し粘れば、何倍も分捕れたはずだが、丹後の人々は奥ゆかしく、お上に楯突くなどもってのほかと考え、ほとんど抵抗らしい抵抗もせず、早々と受け入れを表明してしまった。そのため関連補助事業も、他地域と比べ、はるかに貧弱。しかし、それでも、めぼしい産業もなく、寂れる一方であった丹後にとっては、待ち望んでいた干天の慈雨、補助事業で丹後は浮かれていた。

中心は、いうまでもなく土建業。いたるところで、道路工事をやっている。角栄さんの日本列島改造のときよりも、すさまじいくらいだ。日本の秘境の奥丹後の、そのまた秘境といわれた丹後半島に、飛行場かと見まがうばかりの立派な道路が造られている。カネは有るところには有るものだ。びっくりした。

むろんアベノミックスによるバラマキもあるだろうが、そのバラマキにあたって、物わかりよく米軍基地をスンナリ受け入れた京丹後に手心を加えていると見てよいだろう。米

軍基地は、たしかに地域活性化に貢献している。丹後の土建業は空前の好景気だ。少なくとも、いまのところは。



■過疎山間地に高速インター建設（森本）。京都・大阪から約2時間。米軍使用見込み。Xバンドレーダー設備や戦車も通行可能な頑丈な道路。



■バイパス建設（久住）／道路改修（等楽寺）／同左



■旧道と新道（等楽寺）／濃茶色の豪華欄干・ガードレール（溝谷川）／道路改修（溝谷）



■道路改修（平）／同（中浜）／同（経ヶ岬）

谷川昌幸(C)

2013/12/09 23:30

カテゴリー: [平和](#)

タグ: [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [補助事業](#), [Xバンドレーダー](#), [京丹後](#)

制憲議会選挙 2013(26)：乗っ取られた選管

ネパール選挙管理委員会のホームページ (election.gov.np/) が、また乗っ取られ (ハックされ) ている。IT 素人には、どの程度危険か分からないが、ご用心ください。



■ネパール選管 HP (12月8日午前) / 乗っ取られた印 AIADMK の HP(The Hindu, Nov.2)
ネパールのネットサイトは、有名どころでも、しょっちゅう乗っ取られる。選管 HP も、選挙中にもかかわらず、何回か乗っ取られていた。くわばら桑原。

が、ネット上のホームページの乗っ取りなど、まあ、罪がない。せいぜい、世界中のネパール好きのパソコンを破壊するか、ウイルスをばらまくか、その程度のことだ。

これがもしホームページではなく、選挙そのものの乗っ取りだったら、どうなるか？ 巧妙に物心両面に働きかけて選挙をやらせ、選挙実施を管理し、ひそかに誘導し、好都合な結果を出させ、それを民意の太鼓判として賞賛する。誰かが、そんなことをしているのではないか？

それにしても、”**Pakistan Haxors**“とは、意味深な名前だ。南アジアでは有名なグループなのだろう。ハッカーは功罪両面。教えられることも多い。



■選管ビル (2013-10-30) / 選管カンチパト側フェンス (2013-10-30)

2013/12/08 11:47

カテゴリー: [選挙](#), [情報 IT](#)

タグ: [ハッカー](#), [選挙民主主義](#), [制憲議会](#), [援助](#)

制憲議会選挙 2013(25) : NHK のネパール選挙「偏向」報道

グローバル化時代であり、ネパール制憲議会選挙も、日本の政治に利用されることはある。それは自明のことだが、たとえば NHK ニュース「ネパール議会 連立協議行われる見通し」(12月4日)のように「大胆・露骨」かつ「巧妙」にやられると、よほど用心していないと、ヤバイことになる。

ネパールで先月投票が行われた制憲議会選挙は、中道路線の「ネパール会議派」が第1党になりましたが、過半数には届かず、主な政党による連立協議が行われる見通しになりました。

ネパールの選挙管理委員会によりますと、先月19日に投票が行われた制憲議会選挙は、中道路線の「ネパール会議派」が196議席を獲得して第1党になりましたが、過半数の301議席には届きませんでした。

第2党は、175議席を獲得した「統一共産党」で、今後この2つの党を軸に連立協議が行われる見通しになりました。

武装闘争を放棄して前回5年前の選挙で第1党になった「ネパール共産党毛沢東主義派」は、80議席しか獲得できずに第3党に転落し、この5年間、憲法の制定ができずに政治が混乱したことに對する国民の批判が集中した形になりました。

「毛沢東主義派」は、選挙に不正があったとして結果を認めない姿勢を示していて、連立政権の成立までには混乱も予想されます。

日本は2007年から4年間、**ネパールに自衛隊の隊員を派遣して国連の代表団の要員として停戦の監視に当たる**など内戦からの復興を支援していて、今回の選挙を受けて新たな国づくりが軌道に乗るか注目されています。

(<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20131204/k10013567321000.html> 強調引用者)

この記事が「大胆」であることは、ネパール事情を多少とも知っている少数の人々には、すぐ分かる。陸自隊員がネパールに行った最大の目的は、海外派兵の訓練兼広報宣伝のためであり、平和貢献は口実にすぎない。たった数名(事務要員をのぞく)で行き、くるくる交代し、いったい何ができるのか? この点については、[陸自ネパール派遣参照](#)。しかし、ネパール事情をほとんど知らない人——大多数の日本人——がこの記事を読めば、ネパール派遣陸自隊員が大活躍し、今回の制憲議会選挙の「成功」をもたらしたと誇らしく思い、今後は日本も積極的に海外派兵すべきだと考えるようになるのは、ごく自然な成り行きだ。実に巧妙。世論操作のモデルケース教材として大学で使えそうだ。



■ ネパールの自衛隊

では、皆様のNHKが、なぜこのような「大胆・露骨」にして「巧妙」な世論操作をするのか？ それは、いうまでもなく安倍政権に操作されているからである。松田浩氏は、「政権のNHK支配監視を――露骨な人事 情報統制の発想」において、こう警告している。

公共放送NHKが、安倍政権の“政治的人事”で、危機に立たされている。さきの経営委員人事で、安倍首相が新任の4委員を自らに極めて近い、“安倍一族”で固めたためだ。

半世紀以上、NHKと政府の関係をウォッチしてきたが、このような露骨きわまる人事は見たことがない。……

伝統的に権力の意向を“忖度”することにたけたNHKの体質を考えれば、原発、教育、歴史問題、集团的自衛権などを報じる際の現場への萎縮効果は計り知れない。……

安倍首相は経営委員人事をテコに、NHKの直接支配に乗り出したのである。

時あたかも特定秘密保護法案が衆院で強行採決された。共通して底流にあるのは、国民に与える情報をコントロールしようという安倍政権の発想である。……

ただでさえ、日頃から政権よりの報道が目につくNHKである。「みなさまの公共放送」が戦前と同じ「国家の公共放送」に変貌することがないように、視聴者・国民による厳しい監視の目が必要だろう。(朝日新聞、2013年12月4日)

日本は、ネパール平和構築のため、官民とも**非軍事の分野**で様々な多くの貢献をしてきた。これに対し、派遣自衛隊の活動など、全くといってよいほど現地ネパールの人々には知られていなかった。それなのに、他分野の大きな貢献をさしおき、NHKは派遣自衛隊の貢献を特記した。

これは、たまたまそう書いたのではない。安倍政権の「直接支配」か、それとも「権力の意向の“忖度”」か、それは分からないが、この記事に一定の政治的意図が隠されていることは否定すべくもあるまい。

[追加] (12月6日22時半)

特定秘密保護法案が参院強行採決目前、世論は沸き立ち、国会も国会の外も極度に緊迫している。

その最中、皆様のNHKは、看板番組ニュースウオッチ9(21:00-22:00)において、長々と自衛隊の宣伝番組を流した。「“被災地に勇気を”自衛隊歌姫の『祈り』」。違和感を通り越し、番組放送の裏を“忖度”せざるを得なかった。

自衛隊は「特定秘密」の巣窟。番組は、その自衛隊の演奏活動を、被災地支援活動という誰にも異を唱えにくい形で、情緒たっぷりに伝え、視聴者を涙させた。

特定秘密保護法体制は、強面だけで成立し維持されるわけではない。

[12月6日午後11時半、自公強行採決により、特定秘密保護法成立!]

谷川昌幸(C)

2013/12/05 20:39

カテゴリー: [選挙](#), [軍事](#), [平和](#), [情報IT](#), [人民戦争](#)

タグ: [特定秘密](#), [特定秘密保護法](#), [自衛隊](#), [NHK](#), [UNMIN](#), [安倍首相](#), [平和貢献](#), [情報統制](#), [海外派兵](#), [世論操作](#)

制憲議会選挙 2013(24) : 卍とハーケンクロイツ

ネパールの選挙を初めて見学し驚くことばかりだが、一目見て、一瞬、ギョッとし、凍りついたのは、選管の選挙啓発ポスターやカンチプルの選挙報道に使用されている「ハーケンクロイツ(鉤十字)」そっくりのデザイン。



■選挙啓発ポスター（アムリトキャンパス壁貼付）



■Kathmandu Post: Nov.24 / Nov.20

選管の選挙啓発ポスターは、街中いたるところに貼られている。いやでも目に入る。これには驚いたが、もっとびっくりしたのが、カンチプル（カトマンズポスト）の選挙報道宣伝。右側の緑の方が多かったが、左の赤の投票箱もかなり目についた。これは、形はナチス・ドイツの「ハーケンクロイツ」と全く同じ、配色も少し違うだけ。日本人の私ですらギョッとするくらいだから、西洋人、とくにドイツやその周辺の国々の人が見たら、本当に凍りつき、しばらくは動けなくなってしまうだろう。



■ドイツ第三帝国・国旗

むろん、卍（まんじ）は、逆向きの「右まんじ」も含め、ヒンドゥー教や仏教では、吉祥印である。西洋でも幸運を意味し、ヒトラー以前は、あちこちで使用されていた。

ネパール選管は、投票用紙に投票者が押す印を選ぶとき、おそらく、ネパールでなじみの吉祥印である卍（まんじ）が最適と考え、選択したのだろう。制憲議会選挙は国内選挙であり、それはそれでよい。

が、このグローバル情報化時代、ネパールの選挙も世界中で報道されている。西洋を中心に、多くの人々にとって、「ハーケンクロイツ」は言うまでもなく、卍にせよ逆卍にせよ、多かれ少なかれ忌避されていることも事実だ。詳細は確かめていないが、西洋では独仏など少なからぬ国で、それらの使用は法律で禁止さえされているそうだ。「ハーケンクロイツ」の使用は、犯罪というわけだ。

ここで疑問となるのは、西洋から派遣されている多くの選挙専門家や選挙監視団が、卍はさておき、「ハーケンクロイツ(鉤十字)」そっくりのデザインの使用に、どのような態度をとったか、ということ。反対しても賛成してもやっかいなことになるので、見なかったことにしてきたのだろうか？

ここに「文化」を政治の場で扱うことの難しさ、危険性が如実に表れている。ネパール文化——ネパール人アイデンティティ——においては、「ハーケンクロイツ」型デザインは、その使用に何ら問題がないどころか、逆に、吉祥印として積極的に使用すべきものとされる。だからこそ、投票を呼びかけるため、選挙啓発ポスターや投票箱に「ハーケンクロイツ」型デザインをつけたのだ。ところが、これをドイツやその近隣諸国でやれば、ネオナチか何かへの投票扇動と見られ、囂々たる非難を浴び、場合によっては逮捕されるかもしれない。

ことさように、文化はやっかいで危険だ。政党や政治家は、手っ取り早く支持を集めるのにいくら便利であっても、安易に文化やアイデンティティを政治の場に持ち込むべきではあるまい。

谷川昌幸(C)

2013/12/04 20:11

カテゴリ: [社会](#), [選挙](#), [文化](#)

タグ: [アイデンティティ](#), [ナチス](#), [ハーケンクロイツ](#), [ヒトラー](#), [象徴](#), [制憲議会選挙](#), [文化](#)

制憲議会選挙 2013(23) : パタン南方の桜と中国日報

11月24日、パタン南方のティカ・バイラブに行ってみた。キルティプルからパタン経由、タクシーで1時間近くかかる山麓の小村だが、テチョ、チャパガオン方面からの市街地開発はすぐ近くにまで及び、山腹には自動車道も出来ていた。数年で、道路沿いは商店や住居で埋め尽くされるだろう。テチョ、チャパガオンまでは、すでに前日(23日)、行っているが、少なくとも道路沿いは無秩序な新築建築物で埋め尽くされ、車も多く、あまり感心しなかった。



■ティカ・バイラブ：巨石ご神体(?)と川向かいの学校

24日にティカ・バイラブに行ったのは、一つ西の丘、コカナ、ブンガマティ経由。こちらは車も少なく、道路沿いには緑が多く、美しい。往きはタクシーだったが、帰りはチャミ付近で下車し、丘の上の道をパタンに向け歩いて戻った。舗装道路だが、車はたまに通るだけ。菜の花(からし菜?)、マリーゴールド、ラルパテなど、花々が咲き乱れている。

そして、圧巻はなんと言っても、桜。ちょうど満開で、いたるところに咲いている。特に西側斜面に多く、まるでネパールの吉野。自然林なのか植林なのか分からないが、一面、桜の小高い丘もあった。



■丘の桜(カトリガウン付近)

この付近の桜は、色は白に近いものから濃い桃色まで、花は一重から八重に見えるものまである。ソメイヨシノそっくりの桜もあった。しかも、花持ちがよく、長く咲いている。もう少し増やせば、桜大好き日本人が大挙押し寄せるにちがいない。



■農民と桜(チャミ) / チョウタラ・農民・菜の花(チャミ) / カナナと桜(コカナ)

そんな野山の花々を愛でながらしばらく歩くと、道ばたに小さな茶店があったので、一服した。ネパール茶一杯 10 ルピー(10円)。茶を飲みながら、ふと見ると、なんと「中国日報 英語版」がおいてあった。パタン郊外とはいえ、かなり遠い山村の地元民しか立ち寄りそうにない小さな茶店に、どうして「中国日報」がおいてあるのだろうか？

村の茶店が「中国日報」を販売しているとは思えない。おそらく、誰かがカトマンズかパタンから持ち込み、茶店においていたのだろう。が、そうだとした場合、こんな田舎にまで「中国の進出」が及んでいるとは、正直、驚いた。



■茶店の中国日報(チャミ)

茶店から丘の上の道を少し歩き，チュニッケル付近から踏み分け道を西に降り，中腹の小道に出て，それをブンガマティまで歩いた。この付近は，よそ者が少ないとみえ，昼間でも犬が吠えかかり，かなり危険。それさえ用心すれば，静かで，花々が咲き乱れる絶好の散歩道。次は，この道をもう少し奥までたどってみたい思っている。

ブンガマティは，昨年，来たことがあるので，ざっと見て回るにとどめ，村道をさらにコカナまで歩いた。コカナは，村開発委員会（VDC）が外人入域料 50 ルピーを徴収するようになっていた。

24 日，見て歩いたパタン南方郊外では， kongress の旗やビラが他党よりも多かった。たとえば，コカナには下図のような“kongress の門”が造られていた。おそらく，この付近の共同体は kongress 支持なのだろう。ネパール国民の投票行動は，このような現実をも踏まえ，理解すべきであろう。



■コカナの kongress

谷川昌幸(C)

2013/12/03 19:26

カテゴリー: [選挙](#), [旅行](#), [中国](#)

タグ: [コカナ](#), [ブンガマティ](#), [都市化](#), [共同体](#), [制憲議会選挙](#), [桜](#)

制憲議会選挙 2013(22) : アイデンティティの市場競争へ

いまはやりの多文化主義によれば、人びとは「個人」として尊重されるのではなく、所属集団の一員として尊重される。裸の自由・平等・独立の個人は虚構 (fiction) であり、すべての人はその人格を帰属集団文化(言語など)の中で形成するのだから、人権の尊重とは、すべての人をその人格において、つまりそのアイデンティティ (自分を自分と考えるその在り方) において、尊重することである、というわけである。

たしかに、近代個人主義は、自由・平等・独立の個人といっても、それはあくまでもフィクションにすぎず、実際には言語や宗教など文化によりその態度や行動は決定される。だから、自由・平等・独立の諸個人に一人一票民主主義で意思決定させたら、結局は、多数文化の専制となってしまうわけだ。この理屈はよく分かる。

しかし、多文化主義的集団主義で問題解決か、ということ、ことはそう簡単ではない。多文化主義の依拠する人びとのアイデンティティは、多元的・多層的・重複的であり、常に変化・流動し、新しいものも次々と出現する、という特有の難しさがある。

その多種多様で変転きわまりなき集団アイデンティティの相互関係をどう調整し、それぞれの権利をどう尊重するか？ また、それぞれの集団内の少数派の権利をどう守るか？ これらは、いずれも原理的で、かつ実際的な難問である。

さらに、集団アイデンティティの尊重を唱える多文化主義的集団主義は、多言語主義が実証しつつあるように、アイデンティティ諸集団を自由競争市場に引き出す結果になりかねない。すなわち、「集団」としての権利が保障されたのだから、あとは市場で自由に競争せよ、というわけだ。

しかし、少数民族言語がネパール語に、ネパール語が英語に敗退しつつあるように、集団自体も、強大集団と弱小集団が競争すれば、いくら集団の権利が保障されていようが、弱小集団は敗退し、いずれ消滅か博物館行きとならざるをえない。それを免れるためには、少数派集団は、内に向けては集団内少数派の抑圧、外に向けてはアイデンティティ闘争強化を図らざるを得ないことになる。過激なアイデンティティ政治への転落である。

と、そんな観点から、今回の制憲議会選挙を見ると、多文化主義的集団主義は、既存諸集団をいったん解放し、これにより精神的文化的武装解除を行い、しかるのち均質な大社会——グローバル資本主義社会——に吸収同化するための巧妙な策略ではないか、という疑念をますます禁じ得なくなった。

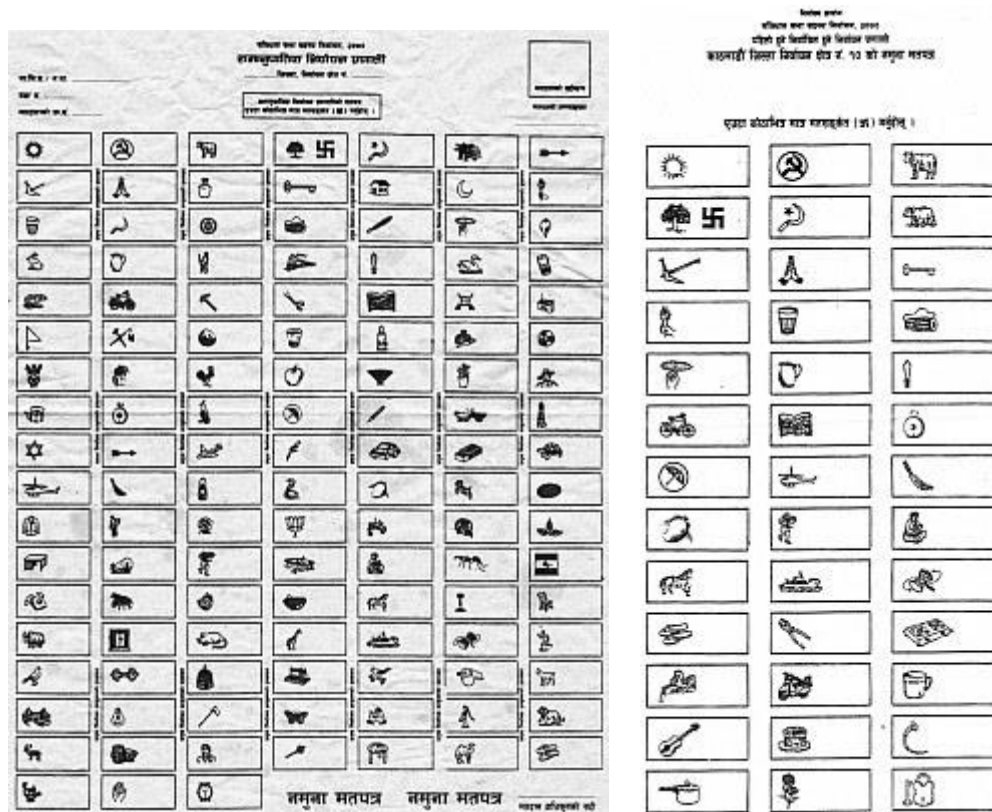
制憲議会選挙実施が発表されると、選出議席 601 (小選挙区制 240, 比例制 335, 指名制 26) に対し、150 前後もの政党が選挙参加を表明した。その後、選管への正式登録は 130 党となった。このうち比例制参加は 122 党、候補者総数 10709 人。小選挙区への立候補者数は 6128 人。いずれもたいへんな数であり、弱小途上国ネパールにとって、選管、警察、軍隊などの経費だけでも、負担はきわめて重い。

下図 AB は、キルティプルで Y 氏からいただいた投票用紙サンプルのコピー。A は比例制、B は小選挙区制カトマンズ第 10 区。いずれの用紙にも、 कांग्रेसの「樹」欄に、すでに「卍」の投票マークが印刷されている。 कांग्रेसが、投票日前に配布したものだろう。

カトマンズ第 10 選挙区は、有権者数 62573 人。プラチャンダ議長が落選した選挙区だ。投票用紙は、見ての通り、AB とも巨大。比例制は 122 党、小選挙区制でも 39 党 (39 人)。このようなものが全国 240 選挙区ごとに用意されている。これでは有権者や地域社会の精神的負担は重く、また選挙経費は、選挙運動費 (合法・非合法、直接・間接) も含めると途方もない額となり、ネパール国民に重くのしかかる。これが、多文化主義的集団主義、つまりはアイデンティティ政治の目に見える大きな成果の一つなのだ。

ところが、それだけの負担を強いながら、今回選挙では、女性や少数派諸民族・諸集団の当選者数は激減しそうな形勢だ。小選挙区の女性当選者数は、前回 30 人に対し、今回はわずか 10 人 (4%)。マデシも有力者多数が落選し大きく後退した。比例制(335)と指名制(26)で多少は増えるだろうが、それでも女性や少数派諸集団の大幅後退は避けられそうにない。

なぜ、このようなことになってしまったのか？ 諸言語の解放が、結局、ネパール語や英語帝国主義への隷従となりつつあるのと同じようなことが、被抑圧諸集団の解放についても政治の場で始まりつつあるのではないだろうか。



■投票用紙サンプル(कांग्रेस欄卍印付)： (A)比例制用 / (B)カトマンズ第 10 選挙区用

谷川昌幸(C)

2013/12/02 16:30

カテゴリー: [選挙](#), [民族](#), [民主主義](#)

タグ: [アイデンティティ政治](#), [個人主義](#), [制憲議会選挙](#), [多文化主義](#)